

協働の機会提案書(継続提案用)

2018年9月25日

印西市長 板倉 正直 様

(登録者) 登録番号 28-004
 名称 NPO法人 里地里山保全ねっと
 所在地 印西市美瀬1-7-9
 代表者職氏名 理事長 高橋 幸治 (印)
 連絡先

企画提案型協働事業を、下記のとおり提案します。

提案事業名	イノシシ等の獣害対策としての荒れた里山の整備事業
現状・課題 (前年度の実施を踏 まえた課題)	前年度は新規事案のため整備作業の開始が遅れたことにより、 <u>不耕作地や農道の雑草や枝の繁茂が進み作業が追付くのに時間がかかった。</u> このことにより <u>搬出し堆肥化する刈り草の量も大幅に増加した。</u> また、休耕田には用水の流入があり止水に時間がかかった。
提案理由	<u>不耕作地等に棲みついたイノシシ対策としては、「捕獲駆除」「防護柵」「生息環境の管理」を同時に実施することが効果的</u> と言われている。印西市で行っている捕獲駆除と電気柵等の防護対策に加え、市民や所有者が共同で <u>不耕作地の整備を行い生息環境の管理を実施したい。</u> 荒れた里山や不耕作地の整備保全活動を進め、 <u>イノシシが生息しづらい環境を作り、市民が安全に印西市の自然環境を満喫できるような里山づくりを行いたい。</u>
提案内容 (前年度の実施を踏 まえた改善内容)	前年度より実施している美瀬地区の環境整備は継続し、新たに隣接した <u>不耕作地へ整備範囲を拡大する。</u> また、樹林地からのイノシシの通路となる農道の斜面部分についても高さ2m程度まで篠竹の整備を進める。 イノシシの調査方法として自動カメラ等を設置し夜間の出没調査も実施する。 また、 <u>猟友会の協力を得て箱ワナ、くくりワナを設置し捕獲調査も実施する。</u>
貴団体の特性、協働 で実施するメリット	いには野地区の住民を中心に設立した里山環境の保全を目的にした団体で、循環型の里山整備を実施している。今年4月にNPO法人化を図り活動の質を高め規模の拡大を行っている。 地域住民が中心となって里山整備によるイノシシ対策を実施することで、住民の環境意識の向上が期待できる。また対象地域の近隣住民の団体が実働・整備することにより、市として直接実施しづらい荒れ地の草刈りや竹林整備等の環境施策が行いやすくなると考えている。

<p>継続実施により 得られる効果 (自由提案型は今後の 展望も記入)</p>	<p>前年実施部分に加え隣接地の不耕作地を整備することで、住宅地との接続部分のイノシシ対策地域が拡大し、農作物被害や住民とイノシシの遭遇機会を減らすことができると考えている。</p> <p>また、この不耕作地の整備は里山の景観改善にも繋がり、整備地周辺の里山を散策する市民の姿を見かけるようになった。</p> <p>今後は、散策コースの整備や里山学校のような環境教育も行っていきたい。</p> <p>更に不耕作地整備の際に出る刈り草や伐採竹の堆肥化等による有効活用を進めて行く。</p>
---	---

協働事業計画書			
事業名	イノシシ等の獣害対策としての荒れた里山の整備事業		
事業の目的	住宅地に隣接した不耕作地のイノシシ対策として不耕作地の整備を行い、住宅地との間に緩衝地帯を作る。また、整備前後にイノシシの痕跡調査を行い、整備事業の効果検証を行う。		
市の施策上の位置付け及び協働部署	(施策名) 生産基盤の整備や担い手の確保による持続的な農業の実現 (部署名) 農政課		
事業期間	平成31年4月1日 ～ 平成32年3月31日		
事業の内容 詳細に役割分担別に記入 (役割分担を、できれば事前に市の担当に相談して記すか、希望を記す)	提案者	市	
	<ul style="list-style-type: none"> ・整備対象地区の所有者との折衝 ・前年整備地の維持管理 ・不耕作地、放置林整備と伐材処理 ・整備地域側道の草刈り整備 ・ボランティアの募集・指導 ・イノシシの痕跡、捕獲調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地所有者との折衝補助（紹介・情報提供） ・事業遂行上のアドバイス 	
事業に要する経費 <small>※詳細については、様式③による</small>	14,000円		1,168,000円
事業の運営体制 (事業関係者、協力者、有資格者など)	林業、農業、環境団体で経験を積んだ指導的会員と、経験2-3年の会員で作業を行い、いには野地区の住民を対象に整備作業の体験会を実施する。 労働安全衛生特別教育修了者4名 狩猟免許取得者3名		
協働のメリット (各立場にとっての効果を簡潔に)	提案者	市民	市
	継続実施することで整備地の拡大が図れ、イノシシ対策の効果拡大が期待でき、地域の安全にも貢献できる。また、団体の活動拡大が期待できる。	不耕作地整備によるイノシシの生息地管理は、住民の安心安全の向上に繋がる。また、景観改善が自然に親しみやすい環境作りとなる。	継続して市民と協働で不耕作地整備事業を行うことで、獣害対策と不耕作地の改善を同時に行う仕組み作りができる。
対話方法 <small>市との協議や打ち合わせ方法</small>	活動毎に作業報告書を提出する。必要に応じて臨時ミーティングを行う。また、E-mail等でも情報交換を行う。		
事業の周知や評価の方法 (具体的な目標値など)	団体のブログで活動状況を公表する。会報を作成し自治会や掲示板で活動内容の報告とボランティア募集の通知を行う。 イノシシの痕跡、自動カメラによる撮影、捕獲調査等の比較を行う。		
備考	関係団体等		
	その他（添付書類等）		

(提案書 様式③)

企画提案型協働事業経費内訳書

総事業費 (無償分を含む) 金 2,462,000 円

市から団体への委託費 (金 1,168,000 円)

【歳入】

項目	積算根拠 (内容・数量・単価など)	見積り金額(円)
市に負担を求め額	人件費(刈草処理、伐採竹処理) 818,000 円	1,168,000 円
	車両費、保険料、備品費、燃料費 350,000 円	
その他収入		
提案者負担分	サーバー・ドメイン利用料(年間)	14,000 円
無償労働力等換算金額	労働力 1,080,000 円、 機材 200,000 円	(1,280,000 円)
合計 (無償分を含めない)		1,182,000 円
無償分を含めた合計額		(2,462,000 円)

【歳出】

項目	積算根拠 (内容・数量・単価など)	見積り金額(円)
人件費	刈草処理: 40L/坪×5,000 坪=200,000L	収集搬出作業=33 回/延べ 317 時間 リサイクル処理=33 回/延べ 333 時間 317,000 円 333,000 円
	竹竿枝葉処理: 2 本/坪×600 坪=1,200 本	搬出処理作業=延べ 60 時間 竹枝葉粉碎処理=180 円/坪×600 坪 60,000 円 108,000 円
	車両費	軽トラック48 回×2,000 円 96,000 円
	保険料	傷害保険 50,000 円
備品費	替刃(刈払機/チェーンソー)、チェーンソーオイル、ゴーグル、ブルーシート他 146,000 円	
燃料費	ガソリン、エンジンオイル (刈払機、チェーンソー、粉碎機用) 58,000 円	
役務費	サーバー・ドメイン利用料 14,000 円/年 (14,000 円)	
提案者が負担する 無償労働力	休耕地草刈り管理: 5,000 坪=33 回/193 人/644 時間×1,000 円 竹林伐採管理: 600 坪=14 回/103 人/283 時間×1,000 円 出没調査見回り: 48 回=3 人/57 時間×1,000 円 HP 活動報告作成・更新: 48 回×2 時間×1,000 円 (1,080,000 円)	
提案者が負担する 無償機材等	刈払機 1,000 円/日×128 台、 チェーンソー1,000 円/日×12 台、 草刈機 5,000 円/日×6 台、 粉碎機 3,000 円/日×10 台 (200,000 円)	
合計 (無償分を含めない)		1,182,000 円
無償分を含めた合計額		(2,462,000 円)

年間事業スケジュール

実施予定日	活 動 内 容	参加人数
4月上旬	協働事業契約締結、保険契約	(延べ人数)
4月上旬	今年度の整備対象地域の確認とイノシシの痕跡確認 1回	3人
	【不耕作地と農道整備】	
	*新規不耕作地、農道整備	
4月～6月	・草刈整備(刈草収集搬出・リサイクル処理) 10回	60人
7月～8月	・2巡目草刈整備(刈草収集搬出・リサイクル処理) 4回	24人
10月～11月	・3巡目草刈整備(刈草収集搬出・リサイクル処理) 3回	18人
3月	・4巡目草刈整備(刈草収集搬出・リサイクル処理) 2回	12人
	*前年整備地の整備	
6月～7月	・整備済み地草刈り(刈草収集搬出・リサイクル処理) 4回	24人
8月～9月	・2巡目草刈整備(刈草収集搬出・リサイクル処理) 4回	24人
10月～11月	・3巡目草刈整備(刈草収集搬出・リサイクル処理) 3回	18人
3月	・4巡目草刈整備(刈草収集搬出・リサイクル処理) 2回	12人
	【竹林整備】(前年整備地)	
6月初旬	・若竹伐採、搬出 1回	6人
7月中旬	・若竹伐採、搬出・粉砕処理 2回	12人
12月～2月	・間伐、枯れ竹整備(伐採搬出・枝葉粉砕処理) 7回	42人
9月～3月	・竹林下草刈り(枝葉粉砕処理) 3回	18人
	【一般ボランティア参加】	
6月上旬	・不耕作地の草刈整備体験会(刈草収集搬出、リサイクル処理)、 イノシシの痕跡調査 1回	15人
1月下旬	・竹林整備体験会(伐採竹搬出、枝葉粉砕処理)、 イノシシの痕跡調査 1回	15人
		合計 303人
	【イノシシ出没調査】	
4月～3月	・痕跡調査、自動カメラによる夜間調査、捕獲調査 48回	作業時実施